❶ 西河地区・来岸地区の防災マップ

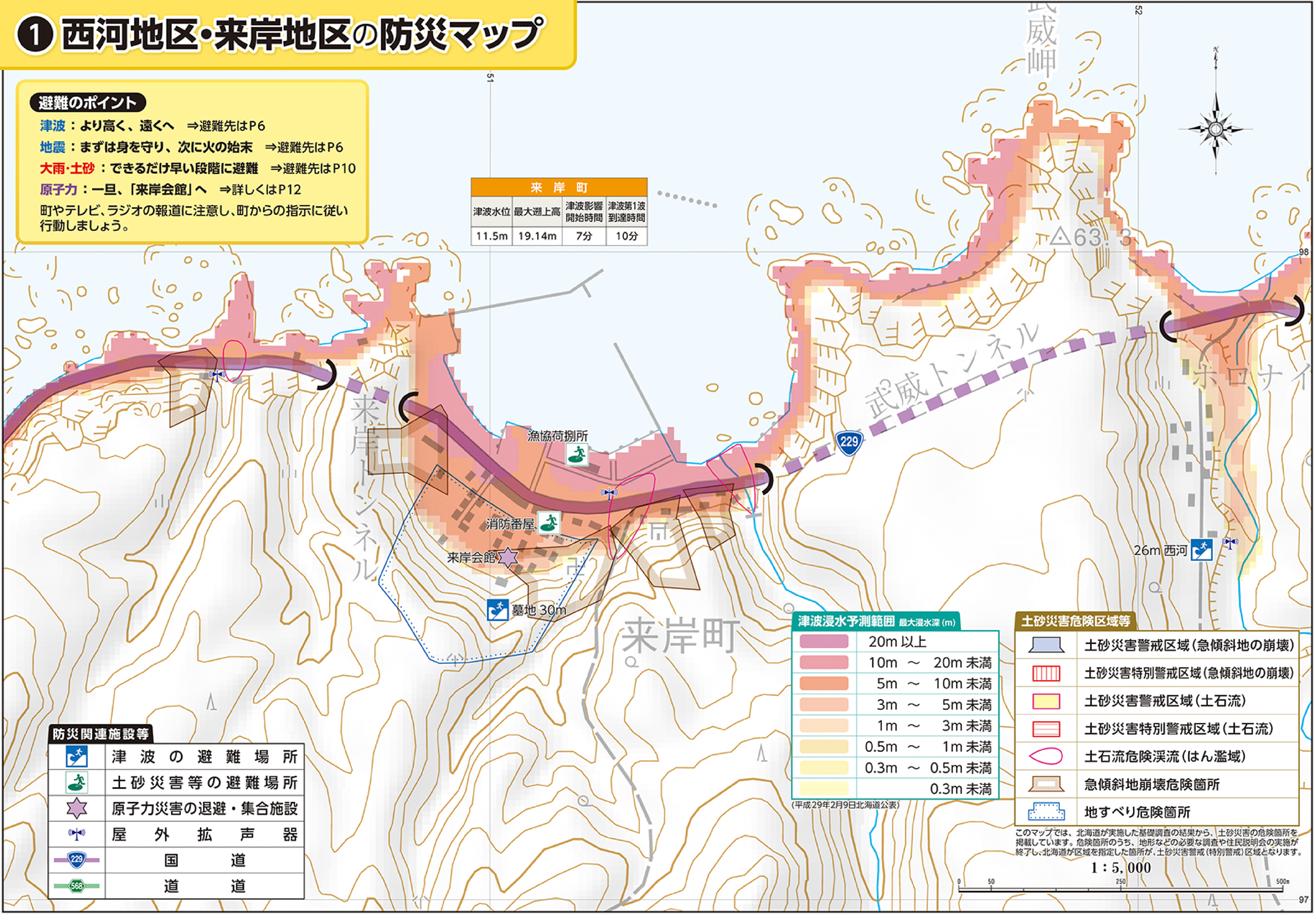
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号　平28情使、第307-GISMAP38086号)

避難のポイント

- **津波**：より高く、遠くへ　⇒避難先はP6
- **地震**：まずは身を守り、次に火の始末　⇒避難先はP6
- **大雨・土砂**：できるだけ早い段階に避難　⇒避難先はP10
- **原子力**：一旦、「来岸会館」へ　⇒詳しくはP12

町やテレビ、ラジオの報道に注意し、町からの指示に従い行動しましょう。

来　岸　町			
津波水位	最大遡上高	津波影響開始時間	津波第1波到達時間
11.5m	19.14m	7分	10分



津波浸水予測範囲 最大浸水深(m)

(色)	20m 以上
(色)	10m ～ 20m 未満
(色)	5m ～ 10m 未満
(色)	3m ～ 5m 未満
(色)	1m ～ 3m 未満
(色)	0.5m ～ 1m 未満
(色)	0.3m ～ 0.5m 未満
(色)	0.3m 未満

(平成29年2月9日北海道公表)

土砂災害危険区域等

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土石流危険渓流(はん濫域)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所

このマップでは、北海道が実施した基礎調査の結果から、土砂災害の危険箇所を掲載しています。危険箇所のうち、地形などの必要な調査や住民説明会の実施が終了し、北海道が区域を指定した箇所が、土砂災害警戒(特別警戒)区域となります。

1：5, 000

0　50　250　500m

防災関連施設等

- 津波の避難場所
- 土砂災害等の避難場所
- 原子力災害の退避・集合施設
- 屋外拡声器
- 国道 (229)
- 道道 (568)